

校外教育活動リスクチェックシート

【全ての活動編】

【記入例】

該当する□にレ点を入れてチェックしてください。

・・・該当する

記載日 (年 月 日)

学校名 ()

校長名 ()

記載者名 ()

【対象となる活動】

・全ての校外教育活動

1 企画立案について

(1) 全体の計画

- 内容、活動時間、コース等は児童生徒の発達段階、体力、経験等を考慮した内容になっている。
- 児童生徒のグループ編成、教職員の配置は適切である。
- 配慮を要する児童生徒への対応を講じている。

(2) 活動内容等のリスクの洗い出しと対応策

- 児童生徒が迷ったり、はぐれたりする可能性のある場所の把握ができています。
- 交通事故に巻き込まれるリスクをできる限り回避する計画になっている。
- 熱中症対策もしくは防寒対策ができています。
- 突発的な事態に対応可能な人員確保及び役割分担ができています。

(3) 児童生徒と教職員の連絡手段

- 児童生徒に携帯電話を持たせる () 台
- 児童生徒にトランシーバを持たせる () 台
- 交番や店舗等を経由して連絡するよう指導する (市街地の場合)
- 児童生徒と教職員が常に一緒に行動する
- その他の方法 ()

2 事前指導・事前準備について

(1) 下見

- 下見を実施した。
- 迷いそうなポイントやトイレ、点呼や休憩をとる場所を確認した。
- 最新の状況(歩く道・交通網・訪問先の状況等)を把握している。
- 上記3点を実施し、活動計画に反映した。

(2) 児童生徒への事前説明

- 活動するコース等について、ルートや分岐点、危険箇所やトイレ、点呼の場所等を説明した。
- 迷った場合や怪我をした場合等、困った際の対応について、具体を挙げて説明した。
- 「自分勝手な行動をしない」等、単独行動の危険性について説明した。
- 班別、学級別で行動する際の約束事やグループ行動の徹底について指導した。

(3) 保護者への事前説明

- 目的、内容、想定しうるリスクやその対応等について十分な説明をした。
- 大幅な変更等があるときには、再度の説明をした。(する予定)
- 個別対応が必要となる児童生徒の保護者と綿密な打合せをした。

(4) 連絡体制の構築

- 現地での教職員間の連絡体制ができています。
- 連絡方法 ()
- 現地と学校にいる教職員との連絡方法(回数や時刻、場面等)を決めている。
- 緊急時等に、現地と学校が連絡する体制ができています。
- 緊急時等に、保護者へ連絡する体制ができています。

3 登山、海洋活動、自然の中での班別ウォークラリーの実施の有無

- 登山を実施する。 → 別紙2-1へ
- 海洋活動を実施する。 → 別紙2-2へ
- 自然の中での班別ウォークラリーを実施する。 → 別紙2-3へ
- 上記の活動は実施しない。 → 以上にて終了